

■横浜支社：高速バスを利用した落下物防止PR

横浜支社管内の東名高速道路では、平成18年度に約27,000件の落下物（布類、自動車部品等）の処理を行っており、車両から積載物が落下し物損被害が生じた事故も発生しています。

高速道路における積載物の落下は重大事故へ拡大する危険性が高いことから、東名高速道路を利用されるお客様に対して、落下物防止に関して広く効果的な周知を図ることを目的として、「高速バスのリヤガラス面」を利用した広報を展開しています。

1) 広告設備

- ① JRバス リヤガラス
- ② 車両台数：4台
- ③ 運行系統：東名高速道路（東京～名古屋他）
- ④ 運行回数：1日 1往復～1.5往復
- ⑤ 広告開始：平成19年7月1日から実施

2) 広告デザイン



(縦900mm×横2,200mm)

3) 広告例

